清流ニューズ

発行所
八王子市子安町1-22-25
清流寺
清流ニューズ編集室
電話(042)646-0287(代)
FAX(042)644-1164
http://seiryuji.jpn.org/

平成二十六年度総祈願
佛立開導日扇聖人ご生誕二百年慶讃
佛立開花運動第二年度御奉公成就
本年度自主教化誓願達成之御願
日序上人御十七回忌報恩御奉公成就
役中後継者養成・法灯相続促進

十一月の御総講日

一日　九時半　御修行日
七日　十時　バースデー総講
日序上人報恩祈念
十七日　十時　開導御命日
廿五日　十時　門祖御命日

於　清流寺

十六日　十時　開導御逮夜
廿四日　十時　門祖御逮夜
三十日　十時　歓尊御命日

於　羽村別院

特別行事

三日　午前十時三十分
乗泉寺巡教
高祖日蓮大菩薩御会式
晴天祈願
十月廿六日～十一月二日
第一座　午前六時
第二座　九時半

会議

一日　御総講後　役中会議
十七日　御総講後　教区長会議
廿三日　午後二時　参事会

平成廿六年　弘通年度の最終月
報恩ご奉公の完遂をめざそう！

本年も、終に弘通年度の最終月となりました。

先住日序上人御十七回忌報恩ご奉公を展開してまいりましたが、殊に教化の成果があまり芳しくありません。

報恩ご奉公の根幹をなすものは、なんといってもご弘通の発展です。

先住日序上人は、ご晩年の頃のご法門帖に次のご教歌を掲げられて、ご弘通のご意志を力強くお示しです。

御教歌
死して又々この国に生れ来てのりにつかへて人をたすけん

先住はこのご教歌に示されるようにご生涯をご弘通に捧げられました。

私どもは、このご遺志をしっかりといただき報恩ご奉公円成をめざしましょう。

十三回忌から十七回忌にかけて進められてまいりました記念事業は、本堂の改修・教養会室の充実、別院の改修とを掲げました。

本堂の改修は、信者席の床暖房の完成、天井の照明のLED化の実現等が済みましたが、記念事業完遂まではいっておらず、御有志の勧募も目標口数の達成をめざしましょう。

朝参詣強調週間と一万遍口唱会
十一月七日～十一日迄
第三、第四連合担当

今月の朝参詣強調週間は、御会式が月初めにありますので、変則的な日程になりますが、左記の要領で実施いたします。

十一月七日（金）国分寺教区
八日（土）小平教区
九日（日）東村山教区
十日（月）小金井教区
十一日（火）昭島教区

なお、七日は、一万遍口唱会も兼ねて行われますので本年最後の朝参詣強調週間ですから、日序上人御十七回忌報恩ご奉公円成のためにも、奮って参詣に気張りましょう。

今月の他寺院参詣
十六日(日) 大塚・遠妙寺
講有巡教　高祖会

来る十六日(日)大塚・遠妙寺に於て、講有巡教による高祖日蓮大菩薩御会式が奉修されます。

第廿五世講有山内日開上人のご親修をいただくことになっており、当山住職も出座されますので、随伴参詣をさせていただきます。

約二十名でお参詣をさせていただく予定ですがまだ、若干空席があるようです。

東京中央布教区主催
こどもお会式
当山に於て
次世代の佛立人の養成！

来る三十日(日)午前十一時より、当山に於て、東京中央布教区主催による「こどもお会式」が奉修されます。

この催しは、法灯相続の実現をめざし行われるお会式です。

中央布教区管内の若者達が一堂に会して、楽しくご信心を学び、お寺に親しみをもてるようにとの企画です。

詳細は四面にポスターが掲げてありますから、参考にしていただき、次世代の佛立人養成のために、親御さんともどもお参詣にお気張り下さい。

廿七年度
本山初灯明料
今から準備をはじめよう！

平成廿七年度、本山初灯明料の奉納について、宗門の三大奉納金の中でも一番重きをおくのが、年頭の御初灯明料奉納です。

この御灯明料は、本山に奉納され、宗会の議を経て、各支庁布教区にそれぞれ奉納額に比例して、支庁、布教区の弘通活動の運営費として還付されることになっておりますから奉納額の多い、支庁、布教区は、それだけ弘通活動がし易くなることになります。

ですから、今から心掛けて奉納にそなえましょう。

一月廿四日に第一回の奉納式が、本山宥清寺ご宝前に於てとり行われます。

したがって奉納〆切は、本年十二月下旬となりますので期日に間に合うように今から準備いたしましょう。

本月の御妙判
我も唱へ、他にもすゝむ

已今当の経文を深くまほり、一経の肝心たる題目を我も唱へ人にも勧む。麻の中の蓬、墨うてる木の自体は正直ならざれども自然に直なるが如し。経のまゝに唱ふれば曲れる心なし、当に知るべし。佛の御心の我等が身に入らせ給はずば唱へがたき歟。

（妙密上人御消息縮1428）

お祖師様が法華経を最勝の経と信ぜられたのは決して私意より出たのではなく、全く仏意に依ったのであります。

法師品には

〝我ガ所説ノ諸経、而モ此ノ経ノ中ニ於テ法華最モ第一ナリ〟

と説かれてあり、更にその上に〝我ガ所説（ショセツ）ノ経典無量千万億（ノク）ニシテ、已（スデ）ニ説（ト）キ、今説キ、当（マサ）ニ説カン。而（シカ）モ其ノ中ニ於テ此ノ法華経、最モ為（コ）レ難信難解（ナンシンナンゲ）ナリ〟

と示されてあります。

〝已ニ説キ〟とは鹿野苑（ロクヤオン）に於て五比丘（ビク）の為に説法せられて以来此の霊鷲山（りょうじゅせん）の説法までの四十余年説かれた一切経のこと、であり、〝今説キ〟というのは此の霊鷲山で説かれた無量義経及び法華経のことであり〝当ニ説カン〟というのは御入滅までの間に説かるべきお経のことです。

〝難信難解〟とは最も深遠なる教えという意味です。

末法における成仏の法とは、これ以外になく、ですから、

〝廿八年ガ間、他事ナシ。只南○経ノ五字七字ヲ日本国ノ一切衆生ノ口ニ入レントハゲムバカリナリ〟

と御妙判下されて、上行所伝の御題目を〝ワレモ唱へ、他ニモス、メル〟のが仏の命令であり、お祖師様の使命であり、われらがさせて頂くところの御信心でなくてはなりません

と云っても〝末法の三毒強盛の凡夫が仲々出来るものではない〟という事になりがちではありますが、お祖師様はわかり易い例えで示されています。

〝麻ノ中ノ蓬。墨うてる木云々〟と示されてあります。即ち、蓬は曲り易い草ではあるが、麻の中に植えておけば自ずから真ツすぐになります。又曲がった木材でも墨縄を打って其の通り切れば皆真直ぐになります。われらの心も煩悩のまゝ任せておけば、いくらでも曲がってゆくのでありますが、教をうけて、お題目を唱えることによって、真ツ直ぐな心になってゆくものであると示さるゝのであります。

お題目を唱える者は仏の心を以てわが心とするものであるから、おのずから、その言葉も心も、行いも正しくなり、功徳となりそこに〝現世安穏後生善処〟も実現するということをしらねばなりません。